

経済の視点から
歴史の授業をつくる

大阪府 茨木市立南中学校

梶谷真弘

今日の予定

いま
ここ

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

なぜ歴史を学ぶのか？

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

オーセンティックな社会科

現実社会で活躍する、現実の社会問題を解決していくために必要な資質・能力を育成する

その方法論の一つが、

経済の視点を取り入れた歴史学習

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

【中学校学習指導要領 社会編 歴史的分野の目標より】

- ・歴史的な見方・考え方 = 時期や年代、推移、比較、
相互の関連や 現在とのつながり
- ・求められる力 = 多面的・多角的に考察する力
複数の立場や意見を踏まえて
選択・判断する力、説明・議論する力

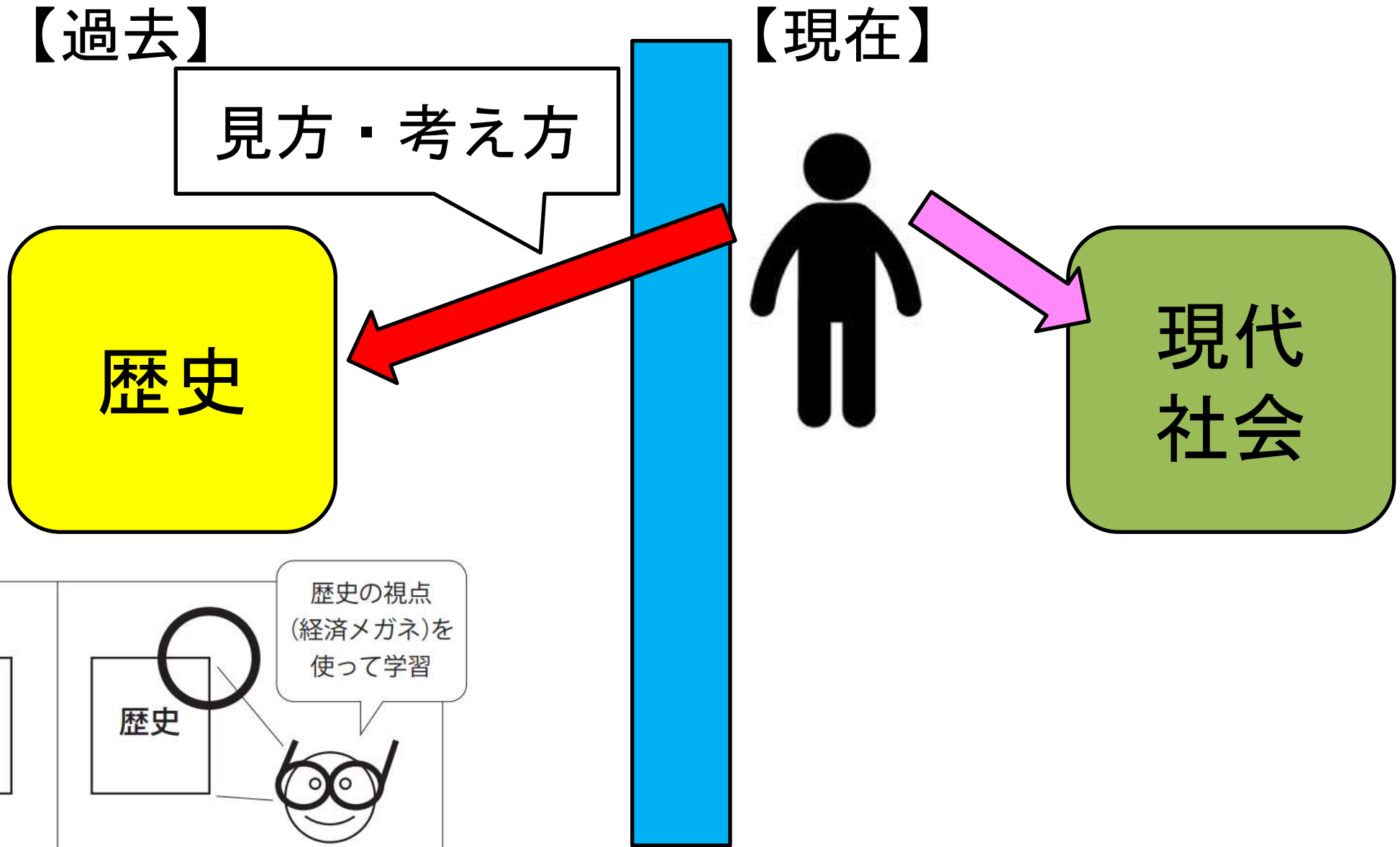
1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

多面的・多角的な考察を通して、
歴史（時間的に離れた事象）を
理解し、

当時と現代の視点を往還して
民主的な市民（公民）に必要な
見方・考え方を身につける

経済の視点

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か



今日の予定

いま
ここ

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点

マンキューの「経済の10大原理」

判断・意思
決定を求
める授業

【意思
決定】

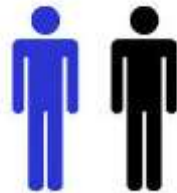
【影響】

【経済全体の
動き】

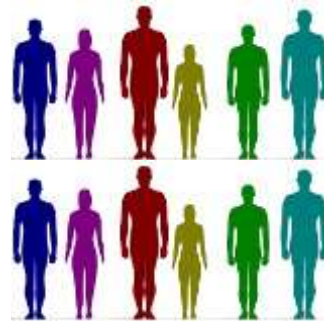


経済の大前提= 希少性

個人の段階



複数の段階



社会全体の段階

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点



意思決定のベース
(インセンティブ、コスト)

経済を考える上での大前提
(希少性、トレードオフ)

どの單元でも、取り上げる

梶谷真弘『経済視点で学ぶ歴史の授業』
さくら社、2020年

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点



大きな規模での経済の視点
(政府の役割、税、経済システム)





小さな規模での経済の視点
(市場、交易)

該当する単元で取り上げる

梶谷真弘『経済視点で学ぶ歴史の授業』
さくら社、2020年

■表7 歴史学習に取り入れる経済の視点

経済の領域	経済の視点	法則例
0. 前提	0-1. 希少性 	①あらゆる資源には、限りがある。 ②少ないものは貴重で価値があり、多くの人がそれを求める。 ③希少なものをもっている、または扱えると、優位である。 ※歴史に影響を与えた希少物 鉄、技術品、鉛・硝石、銅、石炭、石油、レアメタル
	0-2. トレードオフ 	①一方をとると、もう一方をあきらめなければならない。 ②トレードオフは、ものやお金だけでなく、時間や将来の結果も含まれる。 ③「効率」と「公平」がトレードオフになる場合がある。
1. 意思決定	1-1. インセンティブ 	①報酬は、行動を引き起こしやすくする。(利益・富) ②ペナルティは、行動を起こしにくくする。 ③お金以外のインセンティブも、行動に影響を与える。(権力を握る、優位に立つ)
	1-2. コスト 	①判断・行動は、インセンティブがコストを上回った場合に起こる。 ②コストは、お金だけではない。 ③機会費用も、コストに含まれる。
2. 影響	2-1. 市場 	①価格は、売り手と買い手との関係で決まる。 ②供給量が増えると、価格は下がる。 需要量が増えると、価格は上がる。 ③売り手に競争が起こると、価格は下がる。 買い手に競争が起こると、価格は上がる。 ④消費が増えると、経済が活性化され、景気がよくなる。

経済の領域	経済の視点	法則例
2. 影響	2-2. 交易 	①交易すれば、お互いの利益が増える。 ②流通が発達すると、交易は増える。 流通に便利な立地で、交易は行われる。 ③税や規制は、交易を妨げるので、全体の利益は下がる。
3. 経済全体の動き	3-1. 政府の政策 	①経済政策がうまくいくと、国は発展する。 ②国民のインセンティブに合致すると、国は安定する。 ③市場の効率性が下がったとき、政府が介入する必要がある。 ④市場の公平性が下がったとき、政府が介入する必要がある。
	3-2. 税 	①税は、資源を再分配する役割がある。 ②税は、もうからないサービスを提供する役割がある。 ③徴税システムがうまくいくと、国は発展する。 ④徴税システムがうまくいかないと、国も民衆も苦しくなる。
	3-3. 経済システム 	①利益の増えるシステムをつくると、力も高まる。 ②資源を循環させるシステムをつくると、経済が活性化する。 ③経済的なニーズに合わない制度は、ニーズの高い方に変更される。

第4章では、これらの経済の視点をもとに、事例を紹介していきます。そして、どの経済の視点に関係しているかがわかるように、各頁の右下に表をつけています。

今日の予定

1. なぜ歴史学習に経済の視点が必要か

2. 歴史学習に取り入れる経済の視点

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

いま
ここ

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

【江戸時代 → 明治時代】

日本の歴史上、大きな転換点の一つ

一般的には、どのように変化したのかを
学習していく

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

1869	版籍奉還、開拓使を設置
1870	
1871	郵便制度開始、廃藩置県、「解放令」、日清修好条規、岩倉使節団出発
1872	学制発布、新橋－横浜間に鉄道開通
1873	徴兵令、地租改正
1874	民撰議院設立建白書、台湾出兵
1875	
1876	日朝修好条規
1877	西南戦争

(教材化の視点) どうして、このような順番だったのだろうか?

Q1.新政府の悩みは 何だろう？

江戸幕府を倒したが、
何から始めればいいのか……

外国に 侵略されそうだ……

江戸幕府の 味方も 多い……

お金も ない……

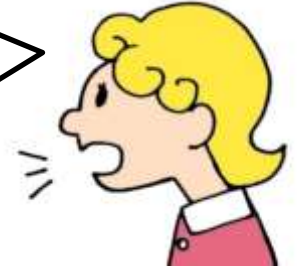


Q2.何に お金を かけるべきか？



外国の言いなりにならないように、
軍事に力を入れるべきだ！

産業を発展させることの方が先決だよ！



将来のために、教育に
力を入れるべきよ。

教育

軍事

まちづくり

産業

貿易

その他



Q2.何に お金を かけるべきか？

1位：	理由
-----	----

2位：	理由
-----	----

3位：	理由
-----	----

教育

軍事

まちづくり

産業

貿易

その他



単元全体の課題

明治政府は 何に お金をかけるべきだろうか？

明治政府の政策の 課題を指摘し、改善策を 提案しよう！

単元「明治政府の決断」

①明治政府には、お金がない! → 税制改革

版籍奉還 → 廃藩置県 → 地租改正

全国から徴収できるように

どうして各藩は許したの?

②どうしてお金がないのに、鉄道の開通を優先したの?

③どうしてお金がないのに、高額で外国人を雇ったの?

④どうしてお金がないのに、岩倉使節団を派遣したの?

単元「明治政府の決断」(全9時間)

単元課題「明治政府は 何に お金をかけるべきだろうか？
明治政府の政策の 課題を指摘し、改善策を提案しよう！」

第1時：廃藩置県を、当時の人々の立場ごとに 評価しよう！

第2時：お雇い外国人は必要？ 不要？ 当時の人々の立場ごとに
評価しよう！

第3時：地租改正、徴兵令を、当時の人々の立場ごとに
評価しよう！

第4時：文明開化を、当時の人々の立場ごとに 評価しよう！

単元「明治政府の決断」（全9時間）

単元課題「明治政府は何にお金をかけるべきだろうか？

明治政府の政策の課題を指摘し、改善策を提案しよう！」

第5時：岩倉使節団は必要？ 不要？ 当時の人々の立場ごとに
評価しよう！

第6時：沖縄 ・ 北海道に対する政策を 評価しよう！

第7時：西郷隆盛と 大久保利通の決断、どちらが 正しかった
だろうか？

第8時：伊藤、板垣、大隈、どの考えに 賛成する？

第9時：大日本帝国憲法を 当時の人々の立場ごとに 評価しよう！

3. 時代の転換期を経済の視点から学ぶ

【戦後史】

日本の歴史上、大きな転換点の一つ
一般的には、どのように変化したのかを
学習していく



【江戸時代 → 明治時代】と同じ

戦後の日本

何に 力を入れるべきか

1位 :

理由

2位 :

理由

3位 :

理由

教育

軍事

まちづくり

産業

貿易

その他